

9月29日(土) 第1会場

特別講演

9:30~11:30

「これからの時代の医療の在り方～「異論」はサイエンスの始まりである～」

座長：白井 千恵（順天堂大学医学部附属練馬病院 メンタルクリニック）
中島 利博（東京医科大学 総合研究所）

政策研究大学院大学（GRIPS）名誉教授

黒川 清

日本線維筋痛症学会 理事長/

政策研究大学院大学（GRIPS）Global Health Care Senior Fellow & Director

西岡 久寿樹

ランチョンセミナー1

12:00~13:00

「ロコモ原因疾患としての変形性膝関節症—その疼痛の機序と治療—」

座長：白井 千恵（順天堂大学医学部附属練馬病院 メンタルクリニック）

順天堂大学大学院医学研究科 整形外科・運動器医学/スポーツロジックセンター

石島 旨章

共催：塩野義製薬株式会社/日本イーライリリー株式会社

スポンサードシンポジウム

14:00~16:00

「痛み治療のアプローチ～今後の展望～」

座長：植田 弘師（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻 分子創薬科学講座 創薬薬理学分野）

1 「「痛み」は気から」を最先端研究で科学する：脳内報酬系機構の破綻が生み出す痛み感覚の統合的理解」

星薬科大学薬理学研究室/星薬科大学 先端生命科学研究センター（L-StaR）

成田 年

2 「医工融合によるヴァーチャルリアリティーを用いた疼痛治療
Virtual Reality treatment of phantom limb pain」

東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター

住谷 昌彦

3 「情報通信技術や機械学習を用いた精神症状定量化の試み」

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学

岸本 泰士郎

共催：ファイザー株式会社/エーザイ株式会社

9月29日(土) 第1会場

シンポジウム 1

16:00~18:00

「線維筋痛症様動物モデルにおける最新の基礎研究」

座長：植田 弘師（長崎大学・院・医歯薬・創薬薬理）

1 「Centralized Pain としての線維筋痛症動物モデル—病態生理学と治療薬理学」

長崎大学・院・医歯薬・創薬薬理

植田 弘師

2 「線維筋痛症動物モデルにおける鎮痛薬の薬効評価：臨床効果予見性を向上させるには？」

青森大学薬学部薬物治療学研究室/青森大学脳と健康科学研究センター

永倉 透記

3 「電気生理学的手法を用いた線維筋痛症の末梢神経・脊髄機構の探索」

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

田口 徹

4 「高磁場 MR イメージングによる痛みと機能評価」

量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所

青木 伊知男

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチ
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シン
ポジウム

市民公開講座

一般演題

ポスター
セッション

9月29日(土) 第2会場

シンポジウム 2

10:45~11:45

「線維筋痛症の心理的諸問題と心理的アプローチ」

座長：村上 正人（国際医療福祉大学・山王病院心療内科）

1 「線維筋痛症の心理病態と対応のありかた—自己成長モデルからのアプローチ—」

国際医療福祉大学・山王病院心療内科

村上 正人

2 「線維筋痛症とミクログリア異常仮説：心療内科のナラティブからエビデンスの確立」

九州大学病院 心療内科

細井 昌子

ランチョンセミナー 2

12:00~13:00

「線維筋痛症のマネージメント」

座長：松本 美富士（桑名市総合医療センターリウマチ膠原病内科）

東京リウマチ・ペインクリニック/東京医科大学

岡 寛

共催：日本臓器製薬株式会社

シンポジウム 3

14:00~15:00

「線維筋痛症の統合医療」

座長：伊藤 和憲（明治国際医療大学）

1 「線維筋痛症に対する統合医療的アプローチ」

帝京平成大学ヒューマンケア学部鍼灸学科

皆川 陽一

2 「統合医療を活用したセルフケアについて」

九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科

浅井 福太郎

3 「統合医療に関わるセラピストの痛み教育の現状と展望」

平成医療学園専門学校鍼灸師科

齊藤 真吾

9月29日(土) 第2会場

シンポジウム 4

15:00~16:00

「救急」

座長：久村 正樹（埼玉医科大学総合医療センター救急科）

「見逃してはいけない救急疼痛疾患—Basic Approach—」

順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科

坂本 壮

教育講演

16:30~18:00

「脳神経内科学の新しい視点：歴史から未来へ」

座長：西岡 健弥（順天堂大学医学部附属 順天堂医院 脳神経内科）

1 「代謝障害・中毒・薬害・感染・食物連鎖・映像環境によるバイオハザード：科学的解決の医学史（脚気から HANS まで）」

帝京大学溝口病院 神経内科

黒岩 義之

2 「筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群（ME/CFS）の免疫病態」

国立精神・神経医療研究センター神経研究所 免疫研究部

山村 隆

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチョン
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シンポジウム

市民公開講座

一般演題

ポスター
セッション

9月29日(土) 第3会場

一般演題 1

10:00~11:30

座長：行岡 正雄（行岡病院）

01-1 線維筋痛症（FM）の血中ヒスタミン値について

亀田内科

亀田 貞彦

01-2 下顎位補正試験により症状の寛解が確認された線維筋痛症 10 症例の保存的顎位治療と歯牙の萌出傾向の先天性素因に関する考察

戸田中央総合病院 脳神経外科

新居 弘章

01-3 性ホルモン使用により疼痛治療薬が減量できた線維筋痛症の 2 例

LUNA骨盤底トータルサポートクリニック

関口 由紀

01-4 線維筋痛症患者における葉酸ビタミン B12 の働きについて 血中濃度およびホモシステイン濃度について

新潟医療生活協同組合 木戸病院

所澤 徹

01-5 線維筋痛症の鑑別診断に関する知見

東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部

古谷 伸之

01-6 線維筋痛症の身体的要因を探る

(公財) 国際全人医療研究所/千代田国際クリニック

永田 勝太郎

9月29日(土) 第3会場

一般演題 2

14:00~15:30

座長：浦野 房三（厚生連篠ノ井総合病院リウマチセンター）

O2-1 Painful legs and moving toes syndrome : organic or functional disorder?

順天堂大学医学附属順天堂医院 脳神経内科

西岡 健弥

O2-2 線維筋痛症の栄養状態と痛み関連障害について

だいいちリハビリテーション病院

薦田 昭宏

O2-3 だいいちリハビリテーション病院における精神科診療—精神科医の役割は

だいいちリハビリテーション病院 線維筋痛症・難病センター/大宮厚生病院

石川 洋世

O2-4 外傷を契機に線維筋痛症を発症し、その治療中に脳脊髄液減少症・漏出症の併発が診断された4例について

帝京大学医学部附属溝口病院神経内科

平井 利明

O2-5 若年性線維筋痛症に罹患した高校女子サッカー選手の競技復帰までの報告(一症例を通して)

医療法人社団青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院/医療法人社団青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院 スポーツリハビリセンター

齊藤 和快

シンポジウム 5

16:00~17:00

「Research Kit」

座長：猪俣 武範（順天堂大学医学部眼科/戦略的手術室改善マネジメント講座）

1 「ResearchKit®をもちいたドライアイの重症化の危険因子に関する大規模臨床研究」

順天堂大学医学部眼科/戦略的手術室改善マネジメント講座

猪俣 武範

2 「医療研究向けアプリケーションの活用～慢性疼痛の重症化予防とセルフコントロール実現を目指す～」

メディカルログ株式会社

野口 宏人

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチョン
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シンポジウム

市民公開講座

一般演題

ボスター
セッション

9月29日(土) 第3会場

イブニングセミナー

17:00~18:00

「新たな治療技術開発に向けた取り組み～その最前線と未来への展望～」

座長：深瀬 広幸（一般社団法人ICR附属 クリニカルリサーチ東京病院）

「線維筋痛症の現在の治療と未来に向けた治療」

東京リウマチ・ペインクリニック/東京医科大学八王子医療センター

岡 寛

「ダイレクトリプログラミングが切り拓く心臓再生の世界」

筑波大学医学医療系 循環器内科

家田 真樹

共催：株式会社アイロム

9月29日(土) ポスター会場

ポスターセッション

10:30~19:00

- P-1 当院で経験した線維筋痛症 120 例の検討
川田じゅんこクリニック
川田 順子
- P-2 線維筋痛症における当院での関節超音波検査の取り組み
だいいちリハビリテーション病院 線維筋痛症・難病センター
西森 美佐子
- P-3 脳内炎症に関わるキヌレニンの代謝機構の解明
東京医科大学 医学総合研究所 運動器科学研究部門/東京医科大学 未来医科学研究寄附講座
藤田 英俊
- P-4 漢方療法がある程度有効であった治療に難渋している線維筋痛症の 1 症例
JA愛知厚生連 江南厚生病院 麻酔科
黒川 修二
- P-5 線維筋痛症に対する運動療法 (2) 持久筋力を増すために
新潟医療生活協同組合 木戸病院
所澤 徹
- P-6 統合医療による線維筋痛症の治療
青山・まだらめクリニック 自律神経免疫治療研究所
班目 健夫
- P-7 線維筋痛症の PET 所見と予後の予測について
順天堂大学医学附属順天堂医院 脳神経内科
西岡 健弥
- P-8 2015 年、2016 年、2017 年における線維筋痛症の診断基準の使用頻度の比較
北広島町豊平病院整形外科
戸田 克広
- P-9 臨床の場面では線維筋痛症の診断基準は不要である
北広島町豊平病院整形外科
戸田 克広
- P-10 2014 年 1 月から 2018 年 2 月までの線維筋痛症と不全型線維筋痛症の治療成績の比較
廣島クリニック 整形外科/北広島町豊平病院整形外科
戸田 克広
- P-11 2016 年に開催された 16th World Congress on Pain で用いられた線維筋痛症の診断基準の割合
北広島町豊平病院整形外科
戸田 克広
- P-12 スマートフォンアプリを用いた慢性疼痛の重症化予防とセルフコントロールを目指した研究
メディカルローグ株式会社
下澤 一麻

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチョン
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シンポジウム

市民公開講座

一般演題

ポスター
セッション

9月30日(日) 第1会場

線維筋痛症のガイドライン

10:00~11:30

「線維筋痛症診療ガイドライン 2017—現状から今後の課題—」

座長：松本 美富士（(独) 桑名市総合医療センター膠原病リウマチ科）

- 1 「線維筋痛症診療ガイドライン：医療社会学・ヘルスコミュニケーションの立場から」
埼玉県立大学健康開発学科 健康行動科学専攻
本間 三恵子
- 2 「内科の立場から総合的診断をはかる」
国際医療福祉大学・山王病院心療内科
村上 正人
- 3 「線維筋痛症ガイドラインと整形外科医療での問題点」
大阪行岡医療大学 医療学部/早石病院 整形外科・疼痛医療センター/行岡病院 リウマチ科/認定NPOいたみ医学研究情報センター
三木 健司
- 4 「非薬物療法・特に鍼灸を含めた物理療法の立場」
帝京平成大学ヒューマンケア学部鍼灸学科
皆川 陽一
- 5 「『FM白書2016』に見る線維筋痛症患者の現状をどのようにガイドラインにつなげるか」
NPO法人線維筋痛症友の会 理事長
橋本 裕子

ランチョンセミナー3

12:15~13:15

「人はなぜ乱れるのか～健康の正体」

座長：白井 千恵（順天堂大学医学部附属練馬病院メンタルクリニック）

順天堂大学医学部総合診療科
小林 弘幸

共催：ニプロ株式会社

9月30日(日) 第1会場

シンポジウム 6

13:30~15:00

「小児科」

座長：横田 俊平（フジ虎ノ門整形外科病院 小児難病リウマチセンター）

1 「若年性線維筋痛症における筋骨格系外症状」

東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センター 小児リウマチ科

宮前 多佳子

2 「若年性線維筋痛症とヒト・パピローマウイルス・ワクチン関連神経免疫異常症候群」

フジ虎ノ門整形外科病院 小児難病リウマチセンター

横田 俊平

3 「視床下部の生理学的役割と制御破綻（視床下部症候群）」

帝京大学溝口病院 神経内科

黒岩 義之

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチョン
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シンポジウム

市民公開講座

一般演題

ポスター
セッション

9月30日(日) 第2会場

シンポジウム7

10:30~12:00

「精神科」

座長：長田 賢一（聖マリアンナ医科大学神経精神科）

1 「Restless legs 症候群での疼痛症状の疫学、病態生理と治療管理」

東京医科大学睡眠学講座

井上 雄一

2 「慢性疼痛と精神疾患：「やるべきこと」と「やってはならないこと」」

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部

橋本 亮太

3 「オフセット現象を用いた線維筋痛症のバイオリジカルマーカーとしての検討」

聖マリアンナ医科大学神経精神科

長田 賢一

4 「慢性疼痛に対する精神医学的介入の重要性—心理社会的考察から神経科学的考察まで—」

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 精神神経医科学

吉野 敦雄

ランチオンセミナー4

12:15~13:15

「線維筋痛症患者に対する運動の適応とリハビリテーション ~どのように運動を選択すればよいのか~」

座長：石原 陽子（霞が関アーバンクリニック）

株式会社ワイズ 脳梗塞リハビリセンター

唐沢 彰太

共催：株式会社ワイズ

9月30日(日) 第2会場

市民公開講座

13:30~15:00

「線維筋痛症の Better for Life～社会復帰への思い～」

座長：岡 寛（東京リウマチ・ペインクリニック）

コメンテーター：橋本 裕子（NPO法人線維筋痛症友の会）

第1部

演者1：「訪問看護師としての経験より 痛みと疲労の対処法などを紹介」

演者2：「精神科専門看護師としての経験より 痛みと更年期障害の対処法などを紹介」

第2部

「線維筋痛症の痛み、疲労、睡眠障害、気圧変動、更年期障害の対処法の工夫」

東京リウマチ・ペインクリニック

岡 寛

第3部

「総合討論」

NPO法人線維筋痛症友の会

司会：橋本 裕子

9月29日(土)
プログラム

9月30日(日)
プログラム

特別講演

線維筋痛症の
ガイドライン

教育講演

ランチオン
セミナー

イブニング
セミナー

スポンサー
シンポジウム

シンポジウム

市民公開講座

一般演題

ポスター
セッション

9月30日(日) 第3会場

シンポジウム 8

10:00~12:00

「線維筋痛症患者に対する運動のススメ」

座長：松原 貴子（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部理学療法学科）
史 賢林（てんじん整形外科リウマチ科）

- 1 「運動は痛みを改善できるか」
名古屋学院大学リハビリテーション学部
城 由起子
- 2 「運動は気分・疲労感を改善できるか？」
神戸学院大学総合リハビリテーション学部理学療法学科
松原 貴子
- 3 「運動と物理療法の組み合わせ治療で効果は高まるか？」
日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻
坂野 裕洋
- 4 「運動と徒手療法の組み合わせ治療で効果は高まるか？」
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 理学療法学分野
坂本 淳哉
- 5 「運動と認知行動療法の組み合わせ治療で効果は高まるか？」
北海道医療大学心理科学部
本谷 亮

シンポジウム 9

13:30~14:30

「新しい研究アプローチ」

座長：西岡 健弥（順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科）

「医師主導治験の実際～希少難病 HAM を例に～」
聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因病態解析学/
聖マリアンナ医科大学大学院 先端医療開発学
山野 嘉久